

### 3 特別会計

特別会計の歳入歳出決算額は、次のとおりである。

なお、各会計の説明で、人件費についての記載は省略してある。

(単位 千円・比率 %)

区 分	令 和 4 年 度			令 和 3 年 度		
	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
電気事業経営 記念基金会計	230,006	229,907	99	229,928	229,829	99
土地区画整理 清算金会計	3,169	1,480	1,689	1,756	1,756	0
母子・父子・寡婦福祉 資金貸付金会計	575,545	291,242	284,303	532,713	298,881	233,832
公債管理事業会計	60,871,510	60,871,510	0	59,492,751	59,492,751	0
競輪事業会計	22,468,370	21,719,732	748,638	30,483,263	29,920,991	562,271
国民健康保険 事業会計	68,420,910	67,107,433	1,313,476	70,098,887	68,165,057	1,933,830
農業集落排水 事業会計	306,109	304,695	1,414	311,751	310,107	1,644
駐車場事業会計	195,679	170,704	24,975	178,616	149,499	29,116
介護保険事業会計	72,978,683	71,793,075	1,185,607	71,708,735	70,708,672	1,000,063
介護保険 サービス会計	62,641	62,141	499	60,394	60,295	99
中央卸売市場 事業会計	680,770	631,653	49,116	629,944	579,536	50,408
後期高齢者医療 事業会計	10,356,486	10,010,241	346,244	9,818,402	9,502,131	316,270
静岡市立静岡病院 事業債管理事業会計	982,577	982,577	0	982,584	982,584	0
計	238,132,461	234,176,395	3,956,065	244,529,731	240,402,093	4,127,638
前年度比較	△6,397,270	△6,225,698	△171,572	19,141,329	18,588,492	552,837
増 減 率	△2.6	△2.6	△4.2	8.5	8.4	15.5

## (1) 電気事業経営記念基金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	231,000	230,006	230,006	99.6	100.0	—	—
令和3年度	231,000	229,928	229,928	99.5	100.0	—	—
比較増減	0	77	77	0.1	0.0	—	—
増減率	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和4年度	231,000	229,907	99.5	—	1,093	99
令和3年度	231,000	229,829	99.5	—	1,171	99
比較増減	0	78	0.0	—	△78	0
増減率	0.0	0.0	—	—	△6.7	△0.3

(ア) 年度末における基金現在高は38億4,913万円で、その保有の内訳は有価証券22億7,067万円（中部電力株式会社株券4,541,346株）、現金15億7,846万円となっていた。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	230,006	229,928	77
B 歳出決算額	229,907	229,829	78
C 形式収支 (A - B)	99	99	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C - D)	99	99	0

## (2) 土地区画整理清算金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	4,299	9,569	3,169	73.7	33.1	—	6,399
令和3年度	4,639	6,999	1,756	37.9	25.1	—	5,243
比較増減	△340	2,569	1,413	35.8	8.0	—	1,155
増 減 率	△7.3	36.7	80.5	—	—	—	22.0

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	4,299	1,480	34.4	—	2,818	1,689
令和3年度	4,639	1,756	37.9	—	2,882	0
比較増減	△340	△275	△3.5	—	△64	1,689
増 減 率	△7.3	△15.7	—	—	2.2	—

(ア) 収入済額は316万円で、予算現額に対する執行率は73.7%となっていた。これは主に、東静岡駅周辺土地区画整理事業において、納付が困難な者が多かったことにより清算徴収金の実績が見込みを下回ったためである。

(イ) 収入済額は、前年度に比べ141万円(80.5%)増加していた。これは主に、過年度滞納分の徴収により清算徴収金収入が増加したためである。

(ウ) 収入未済額は639万円で、前年度に比べ115万円(22.0%)増加していた。収入未済額は、清算徴収金608万円及び延滞金31万円である。

(エ) 支出済額は148万円で、予算現額に対する執行率は34.4%となっていた。これは主に、一般会計繰出金の原資となる東静岡駅周辺土地区画整理事業の清算徴収金の納付が見込みより少なかったためである。

(オ) 支出済額は、前年度に比べ27万円(15.7%)減少していた。これは主に、一般会計繰出金の原資となる東静岡駅周辺土地区画整理事業の清算徴収金が減少したためである。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	3,169	1,756	1,413
B 歳出決算額	1,480	1,756	△275
C 形式収支 (A-B)	1,689	0	1,689
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	1,689	0	1,689

### (3) 母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	543,643	1,120,717	575,545	105.9	51.4	—	545,171
令和3年度	465,003	1,063,159	532,713	114.6	50.1	352	530,093
比較増減	78,640	57,557	42,831	△8.7	1.3	△352	15,077
増 減 率	16.9	5.4	8.0	—	—	△100.0	2.8

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	543,643	291,242	53.6	—	252,400	284,303
令和3年度	465,003	298,881	64.3	—	166,121	233,832
比較増減	78,640	△7,638	△10.7	—	86,278	50,470
増 減 率	16.9	△2.6	—	—	51.9	21.6

(ア) 収入未済額は5億4,517万円で、前年度に比べ1,507万円(2.8%)増加していた。収

入未済額の主なものは、貸付金元利収入4億3,695万円である。

(イ) 支出済額は2億9,124万円で、予算現額に対する執行率は53.6%となっていた。これは

主に、母子・父子・寡婦福祉資金貸付金で、資金の貸付けを執行する対象者数及び貸付金額が見込みを下回ったためである。

(ウ) 不用額は2億5,240万円で、この主なものは、資金の貸付けを執行する対象者数及び貸

付金額が見込みを下回ったことによる母子・父子・寡婦福祉資金貸付金2億4,818万円で

ある。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)			
区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	575,545	532,713	42,831
B 歳出決算額	291,242	298,881	△7,638
C 形式収支 (A - B)	284,303	233,832	50,470
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C - D)	284,303	233,832	50,470

#### (4) 公債管理事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	60,882,000	60,871,510	60,871,510	99.9	100.0	—	—
令和3年度	59,506,000	59,492,751	59,492,751	99.9	100.0	—	—
比較増減	1,376,000	1,378,759	1,378,759	0.0	0.0	—	—
増 減 率	2.3	2.3	2.3	—	—	—	—

(単位 千円・比率 %)						
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	60,882,000	60,871,510	99.9	—	10,489	0
令和3年度	59,506,000	59,492,751	99.9	—	13,248	0
比較増減	1,376,000	1,378,759	0.0	—	△2,759	0
増 減 率	2.3	2.3	—	—	△20.8	—

(ア) 収入済額は、前年度に比べ13億7,875万円(2.3%)増加していた。これは主に、既往債の償還額が増加したことにより一般会計繰入金が増加したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ13億7,875万円(2.3%)増加していた。これは主に、既往債の元金償還金が増加したためである。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	60,871,510	59,492,751	1,378,759
B 歳出決算額	60,871,510	59,492,751	1,378,759
C 形式収支 (A-B)	0	0	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	0

## (5) 競輪事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入

(単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	23,300,463	22,468,370	22,468,370	96.4	100.0	—	—
令和3年度	32,724,896	30,483,263	30,483,263	93.2	100.0	—	—
比較増減	△9,424,433	△8,014,892	△8,014,892	3.2	0.0	—	—
増 減 率	△28.8	△26.3	△26.3	—	—	—	—

歳 出

(単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	23,300,463	21,719,732	93.2	—	1,580,730	748,638
令和3年度	32,724,896	29,920,991	91.4	—	2,803,904	562,271
比較増減	△9,424,433	△8,201,259	1.8	—	△1,223,173	186,366
増 減 率	△28.8	△27.4	—	—	△43.6	33.1

(ア) 収入済額は、前年度に比べ80億1,489万円(26.3%)減少していた。これは主に、前年度に開催された特別競輪(K E I R I Nグランプリシリーズ)が本年度は開催されなかったことにより、勝者投票券販売収入が80億3,049万円減少したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ82億125万円(27.4%)減少していた。これは主に、前年度に開催された特別競輪(K E I R I Nグランプリシリーズ)が本年度は開催されなかったことにより、開催費が78億3,848万円減少したためである。

(ウ) 不用額は15億8,073万円で、前年度に比べ12億2,317万円(43.6%)減少していた。この主なものは、勝者投票券売上額が予測を下回ったことに連動して減少した的中車券払戻金や委託料などの開催費15億4,724万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	22,468,370	30,483,263	△8,014,892
B 歳出決算額	21,719,732	29,920,991	△8,201,259
C 形式収支(A-B)	748,638	562,271	186,366
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	748,638	562,271	186,366

ウ 通常開催(特別競輪及び記念競輪を除く。)の状況は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
開 催 回 数 (回)	11	11	0	0.0
開 催 日 数 (日)	45	41	4	9.8
入 場 者 数 (人)	76,045	61,902	14,143	22.8
1 開催当たり入場者数 (人)	7,604	6,878	726	10.6
勝 者 投 票 券 発 売 収 入	15,563,597	10,350,650	5,212,947	50.4
1 開催当たり勝者投票券売上収入	1,414,872	940,968	473,904	50.4
1 開催当たり収入額 (A)	1,422,734	945,893	476,841	50.4
1 開催当たり支出額 (B)	1,365,581	928,869	436,712	47.0
1 開催当たり収支差引額 (A)-(B)	57,152	17,023	40,129	235.7

(注) 1開催当たり入場者数は、通常開催に係る入場者数を無観客で開催した「ミッドナイト競輪」1回を除く開催回数(10回)で除した数値である。その他の1開催当たりの数値は、通常開催に係る合計金額を開催回数(11回)で除した数値である。

(ア) 通常開催について前年度と比較すると、1開催当たり入場者は726人(10.6%)、1開催当たり勝者投票券売上収入は4億7,390万円(50.4%)、1開催当たり収入額は4億7,684万円(50.4%)、1開催当たり支出額は4億3,671万円(47.0%)、それぞれ増加していた。

(イ) この結果、通常開催の1開催当たり収支差引額は5,715万円の黒字となり、黒字額は前年度に比べ4,012万円(235.7%)増加していた。これは1開催当たり収入額、1開催当

たり支出額ともに前年度より増加したが、1開催当たり収入額の増加の方が大きかったためである。

## (6) 国民健康保険事業会計

総括の決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	事業勘定		直営診療施設勘定		計	
	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比
歳入歳出予算額	70,072,041	98.5	110,001	102.2	70,182,042	98.5
歳入決算額	68,322,148	97.6	98,762	105.6	68,420,910	97.6
歳出決算額	67,008,671	98.4	98,761	105.6	67,107,433	98.4
歳入歳出差引額	1,313,476	67.9	0	138.8	1,313,476	67.9

### 事業勘定

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和4年度	70,072,041	70,264,256	68,322,148	97.5	97.2	466,378	1,520,102	44,372
令和3年度	71,118,667	72,126,314	70,005,365	98.4	97.1	508,605	1,655,698	43,355
比較増減	△1,046,626	△1,862,057	△1,683,217	△0.9	0.1	△42,227	△135,595	1,016
増減率	△1.5	△2.6	△2.4	—	—	△8.3	△8.2	2.3

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和4年度	70,072,041	67,008,671	95.6	—	3,063,369	1,313,476
令和3年度	71,118,667	68,071,535	95.7	—	3,047,131	1,933,830
比較増減	△1,046,626	△1,062,863	△0.1	—	16,237	△620,353
増減率	△1.5	△1.6	—	—	0.5	△32.1

(ア) 収入済額は、前年度に比べ16億8,321万円(2.4%)減少していた。これは主に、国民健



康保険の加入世帯及び被保険者数が減少したことにより、国民健康保険料が7億3,301万円、県補助金が6億8,552万円減少したためである。

(イ) 不納欠損額は4億6,637万円で、前年度に比べ4,222万円(8.3%)減少していた。不納欠損額の主なものは、一般被保険者国民健康保険料4億6,002万円である。

(ウ) 収入未済額は15億2,010万円で、前年度に比べ1億3,559万円(8.2%)減少していた。

収入未済額の主なものは、一般被保険者国民健康保険料14億8,936万円である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ10億6,286万円(1.6%)減少していた。これは主に、被保険者数が減少したことにより一般被保険者療養給付費が5億8,811万円減少し、県の医療費推計における市への請求額が減少したことにより県への納付金のうち一般被保険者医療給付費分が2億4,279万円減少したためである。

(オ) 不用額は30億6,336万円で、この主なものは、一般被保険者高額療養費8億6,599万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	68,322,148	70,005,365	△1,683,217
B 歳出決算額	67,008,671	68,071,535	△1,062,863
C 形式収支(A-B)	1,313,476	1,933,830	△620,353
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	1,313,476	1,933,830	△620,353

## 直営診療施設勘定

ア 決算概要は、次のとおりである。

区分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	110,001	98,762	98,762	89.8	100.0	—	—
令和3年度	107,626	93,522	93,522	86.9	100.0	—	—
比較増減	2,375	5,239	5,239	2.9	0.0	—	—
増減率	2.2	5.6	5.6	—	—	—	—

区分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和4年度	110,001	98,761	89.8	—	11,239	0
令和3年度	107,626	93,521	86.9	—	14,104	0
比較増減	2,375	5,239	2.9	—	△2,864	0
増減率	2.2	5.6	—	—	△20.3	—

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	98,762	93,522	5,239
B 歳出決算額	98,761	93,521	5,239
C 形式収支 (A-B)	0	0	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	0

## (7) 農業集落排水事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	346,359	308,154	306,109	88.4	99.3	163	1,881
令和3年度	320,230	313,584	311,751	97.4	99.4	101	1,731
比較増減	26,129	△5,429	△5,642	△9.0	△0.1	62	150
増減率	8.2	△1.7	△1.8	—	—	61.7	8.7

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和4年度	346,359	304,695	88.0	11,925	29,738	1,414
令和3年度	320,230	310,107	96.8	—	10,122	1,644
比較増減	26,129	△5,412	△8.8	11,925	19,616	△230
増減率	8.2	△1.7	—	—	193.8	△14.0

(ア) 収入済額は3億610万円で、予算現額に対する執行率は88.4%となっていた。これは主に、令和4年台風第15号に係る災害復旧のために予算を補正した農業集落排水施設災害復旧債及び県補助金並びに農業集落排水事業会計の不足額に対する一般会計繰入金の実績が見込みを下回ったためである。

(イ) 不納欠損額は16万円で、前年度に比べ6万円(61.7%)増加していた。不納欠損額は、全額農業集落排水施設使用料である。

(ウ) 収入未済額は188万円で、前年度に比べ15万円(8.7%)増加していた。収入未済額は、全額農業集落排水施設使用料である。

(エ) 支出済額は3億469万円で、予算現額に対する執行率は88.0%となっていた。これは主に、令和4年台風第15号に係る災害復旧、原油価格や物価の高騰等の影響により予算を補正した業務費の執行が見込みを下回ったためである。

(オ) 公債元金の償還のために予備費97万円を充用していた。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	306,109	311,751	△5,642
B 歳出決算額	304,695	310,107	△5,412
C 形式収支 (A-B)	1,414	1,644	△230
D 翌年度へ繰り越すべき財源	25	—	25
E 実質収支 (C-D)	1,389	1,644	△255

## (8) 駐車場事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	229,029	195,679	195,679	85.4	100.0	—	—
令和3年度	185,571	178,616	178,616	96.3	100.0	—	—
比較増減	43,458	17,063	17,063	△10.9	0.0	—	—
増 減 率	23.4	9.6	9.6	—	—	—	—

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	229,029	170,704	74.5	24,860	33,464	24,975
令和3年度	185,571	149,499	80.6	28,930	7,141	29,116
比較増減	43,458	21,204	△6.1	△4,070	26,323	△4,141
増 減 率	23.4	14.2	—	△14.1	368.6	△14.2

(ア) 収入済額は1億9,567万円で、予算現額に対する執行率は85.4%になっていた。これは主に、駐車場災害復旧債の実績が見込みを下回ったためである。

(イ) 支出済額は1億7,070万円で、予算現額に対する執行率は74.5%となっていた。これは主に、静岡駅北口地下駐車場の設備修繕業務を翌年度に繰り越したためである。

(ウ) 支出済額は、前年度に比べ2,120万円(14.2%)増加していた。これは主に、前年度から繰り越した静岡駅北口地下駐車場の設備修繕業務を実施したことなどにより業務費が

4,038万円増加したためである。

(エ) 翌年度繰越額 2,486万円は全額繰越明許費で、業務費の静岡駅北口地下駐車場管理経費(駐車設備修繕業務)である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	195,679	178,616	17,063
B 歳出決算額	170,704	149,499	21,204
C 形式収支(A-B)	24,975	29,116	△4,141
D 翌年度へ繰り越すべき財源	24,860	28,930	△4,070
E 実質収支(C-D)	115	186	△71

## (9) 介護保険事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

歳 入	区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和4年度		73,898,903	73,167,357	72,978,683	98.8	99.7	40,442	183,307	35,074
令和3年度		72,215,487	71,926,764	71,708,735	99.3	99.7	50,920	195,328	28,220
比較増減		1,683,416	1,240,593	1,269,947	△0.5	0.0	△10,478	△12,021	6,854
増減率		2.3	1.7	1.8	—	—	△20.6	△6.2	24.3

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

(単位 千円・比率 %)

歳 出	区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和4年度		73,898,903	71,793,075	97.2	—	2,105,827	1,185,607
令和3年度		72,215,487	70,708,672	97.9	—	1,506,814	1,000,063
比較増減		1,683,416	1,084,403	△0.7	—	599,012	185,543
増減率		2.3	1.5	—	—	39.8	18.6

(ア) 収入済額は、前年度に比べ12億6,994万円(1.8%)増加していた。これは主に、前年度の保険給付費の実績が見込みを大きく下回ったため、保険給付に要する介護保険料の余

剰が生じたことにより繰越金が5億1,361万円増加したためである。

(イ) 不納欠損額は4,044万円で、前年度に比べ1,047万円(20.6%)減少していた。不納欠損額は全額介護保険料の滞納繰越分である。

(ウ) 収入未済額は1億8,330万円で、前年度に比べ1,202万円(6.2%)減少していた。

収入未済額の主なものは、介護保険料の滞納繰越分8,294万円、普通徴収分7,534万円である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ10億8,440万円(1.5%)増加していた。これは主に、介護サービス利用件数の増加により介護サービス給付費が8億8,596万円増加したためである。

(オ) 不用額は21億582万円で、この主なものは、介護サービスの利用件数が見込みを下回ったことによる介護サービス給付費9億191万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	72,978,683	71,708,735	1,269,947
B 歳出決算額	71,793,075	70,708,672	1,084,403
C 形式収支(A-B)	1,185,607	1,000,063	185,543
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	1,185,607	1,000,063	185,543

## (10) 介護保険サービス会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

歳 入							
区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	64,920	62,641	62,641	96.5	100.0	—	—
令和3年度	60,310	60,394	60,394	100.1	100.0	—	—
比較増減	4,610	2,246	2,246	△3.6	0.0	—	—
増 減 率	7.6	3.7	3.7	—	—	—	—

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和4年度	64,920	62,141	95.7	—	2,778	499
令和3年度	60,310	60,295	100.0	—	14	99
比較増減	4,610	1,845	△4.3	—	2,764	400
増減率	7.6	3.1	—	—	—	404.8

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	62,641	60,394	2,246
B 歳出決算額	62,141	60,295	1,845
C 形式収支 (A-B)	499	99	400
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	499	99	400

## (11) 中央卸売市場事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	694,024	832,919	680,770	98.1	81.7	—	152,149
令和3年度	634,174	777,587	629,944	99.3	81.0	—	147,642
比較増減	59,850	55,332	50,825	△1.2	0.7	—	4,506
増減率	9.4	7.1	8.1	—	—	—	3.1

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	694,024	631,653	91.0	—	62,370	49,116
令和3年度	634,174	579,536	91.4	—	54,637	50,408
比較増減	59,850	52,117	△0.4	—	7,732	△1,291
増 減 率	9.4	9.0	—	—	14.2	△2.6

(ア) 収入未済額は1億5,214万円で、前年度に比べ450万円(3.1%)増加していた。収入未済額の主なものは、市場使用料9,571万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	680,770	629,944	50,825
B 歳出決算額	631,653	579,536	52,117
C 形式収支(A-B)	49,116	50,408	△1,291
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	49,116	50,408	△1,291

## (12) 後期高齢者医療事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和4年度	10,552,937	10,441,248	10,356,486	98.1	99.2	20,426	82,535	18,200
令和3年度	9,845,153	9,902,625	9,818,402	99.7	99.1	19,713	81,400	16,891
比較増減	707,784	538,623	538,084	△1.6	0.1	713	1,135	1,309
増 減 率	7.2	5.4	5.5	—	—	3.6	1.4	7.7

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。



歳 出		(単位 千円・比率 %)				
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	10,552,937	10,010,241	94.9	—	542,695	346,244
令和3年度	9,845,153	9,502,131	96.5	—	343,021	316,270
比較増減	707,784	508,109	△1.6	—	199,674	29,974
増 減 率	7.2	5.3	—	—	58.2	9.5

(ア) 収入済額は、前年度に比べ5億3,808万円(5.5%)増加していた。これは主に、被保険者数の増加に伴い保険料が増加したことなどにより、後期高齢者医療保険料が3億8,116万円増加したためである。

(イ) 不納欠損額は2,042万円で、全額が後期高齢者医療保険料の普通徴収分である。

(ウ) 収入未済額は8,253万円で、全額が後期高齢者医療保険料の普通徴収分である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ5億810万円(5.3%)増加していた。これは主に、被保険者数の増加に伴い保険料が増加したことにより、後期高齢者医療広域連合納付金が5億661万円増加したためである。

(オ) 不用額は5億4,269万円で、この主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金5億3,693万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)			
区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	10,356,486	9,818,402	538,084
B 歳出決算額	10,010,241	9,502,131	508,109
C 形式収支(A-B)	346,244	316,270	29,974
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	346,244	316,270	29,974

### (13) 静岡市立静岡病院事業債管理事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	983,800	982,577	982,577	99.9	100.0	—	—
令和3年度	983,900	982,584	982,584	99.9	100.0	—	—
比較増減	△100	△6	△6	0.0	0.0	—	—
増 減 率	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和4年度	983,800	982,577	99.9	—	1,222	0
令和3年度	983,900	982,584	99.9	—	1,315	0
比較増減	△100	△6	0.0	—	△93	0
増 減 率	△0.0	△0.0	—	—	△7.1	—

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
A 歳入決算額	982,577	982,584	△6
B 歳出決算額	982,577	982,584	△6
C 形式収支 (A-B)	0	0	—
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	—